

米国 復旧で上振れも基調は緩やかな拡大(17年10月鉱工業生産)

: 2017年11月17日(金)

～ハイテクの生産活動は世界的な需要拡大により活発化～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治

03-5221-5001

	鉱工業生産		製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	自動車関連	設備稼働率	製造業 (SIC)	生産能力
	前月比	前年同月比									
16/10	+0.2	(▲0.8)	+0.2	+2.0	▲1.9	+1.5	+0.3	+0.8	+75.7	+75.0	+0.1
16/11	▲0.2	(▲0.4)	+0.2	▲0.1	▲3.3	+0.7	+0.1	▲1.4	+75.5	+75.1	+0.1
16/12	+0.8	(+0.8)	+0.2	▲0.4	+6.9	+0.5	+0.2	+1.3	+76.0	+75.2	+0.1
17/01	▲0.3	(▲0.0)	+0.4	+1.4	▲7.2	▲0.9	+0.5	▲1.1	+75.7	+75.4	+0.1
17/02	+0.2	(+0.4)	+0.3	+3.6	▲4.8	▲1.9	+0.5	+1.2	+75.8	+75.6	+0.1
17/03	+0.2	(+1.4)	▲0.7	▲0.4	+8.2	+0.1	▲0.8	▲3.6	+75.9	+75.1	+0.1
17/04	+1.1	(+2.1)	+1.3	+0.6	+0.2	+2.0	+1.4	+4.2	+76.6	+76.0	+0.1
17/05	+0.0	(+2.3)	▲0.5	+0.8	+2.7	+0.3	▲0.7	▲2.3	+76.6	+75.6	+0.1
17/06	+0.2	(+2.0)	+0.1	+1.2	▲1.0	+0.5	+0.1	▲0.7	+76.6	+75.6	+0.1
17/07	▲0.0	(+1.9)	▲0.2	+0.5	+0.5	▲0.3	▲0.1	▲4.8	+76.5	+75.4	+0.1
17/08	▲0.5	(+1.5)	▲0.2	▲1.2	▲1.3	+0.9	▲0.3	+3.5	+76.1	+75.2	+0.1
17/09	+0.4	(+2.1)	+0.4	+1.5	▲1.0	+1.1	+0.5	+1.7	+76.4	+75.5	+0.1
17/10	+0.9	(+2.9)	+1.3	▲1.3	+2.0	+1.1	+1.1	+1.0	+77.0	+76.4	+0.1

10月に鉱工業生産が前月比+0.9%、製造業生産は同+1.3%とともに加速

17年10月の鉱工業生産は、前月比+0.9%と大幅に加速し、市場予想の同+0.5%を上回った。鉱業が10月に襲来したハリケーン「ネイト」の影響による掘削や一次エネルギー生産縮小で前月比▲1.3%と減少した。一方、大型ハリケーン「ハービー」、「イルマ」による被害からの復旧によって製造業が前月比+1.3%と加速し、市場予想の同+0.6%を大幅に上回った(5-9月合計で0.5%p上方改定)。また、公益事業が前月比+2.0%と増加に転じた。もっとも、ハリケーンの影響を除くと鉱工業生産は前月比+0.3%、製造業生産は同+0.2%と試算されており、緩やかな拡大基調を続けていると判断される。

業種別では、非鉄、その他耐久財、食品・飲料・タバコ、プラスチック・ゴム製品が減少に転じたほか、一次金属、加工金属、木材、一般機械、電気設備・部品、自動車・同部品、航空機・その他輸送設備が鈍化した。一方、ハリケーン被害からの復旧により化学、石油・石炭が大幅に増加した。また、家具・関連製品、繊維、アパレル、紙、印刷・同サポート、その他製造業が増加に転じた。さらに、世界的に需要の強いコンピューター・電子機器は加速した。

稼働率では、設備投資の持ち直しによる生産能力の拡大が続くなかで、生産の増加ペースが加速したことを背景に鉱工業全体が77.0%(前月76.4%)と上昇した(市場予想76.3%)。また、製造業も生産の拡大ペース加速によって76.4%(前月75.5%)と上昇した。

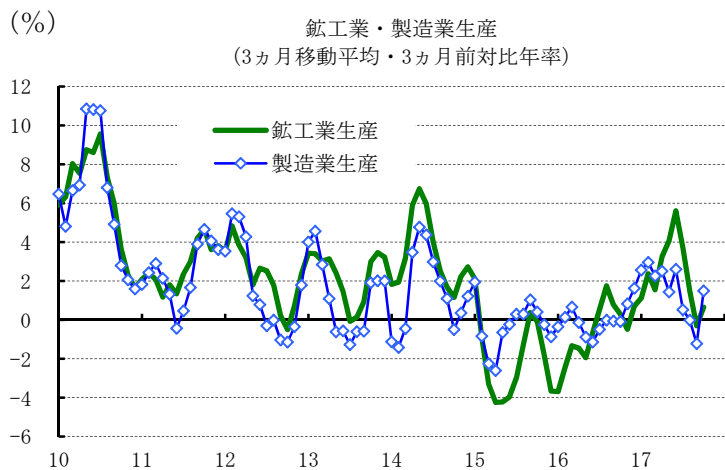
生産活動は四半期でも回復

四半期でみると、10月の製造業生産は、7-9月期比年率+5.9%と7-9月期の前期比年率▲1.2%(速報:同▲2.2%)から増加した。10月の鉱工業生産は7-9月期比年率+4.3%と7-9月期の前期比年率▲0.3%(速報:同▲1.5%)から増加に転じた。

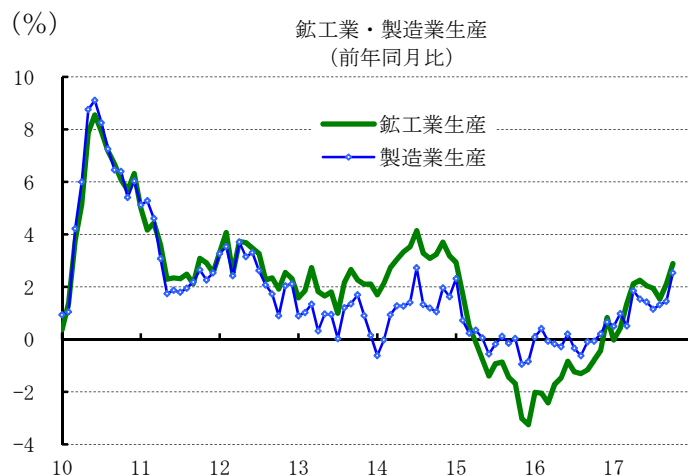
3ヶ月移動平均・3ヶ月前対比年率では、製造業生産が一次金属、一般機械、石油・石炭、化学などの拡大で+1.5%（前月▲1.2%）、鉱工業生産が製造業の拡大によって+0.6%（前月▲0.3%）とプラスに転じており、拡大モメンタムが回復した。

生産活動は10-12月期に上振れる見込み

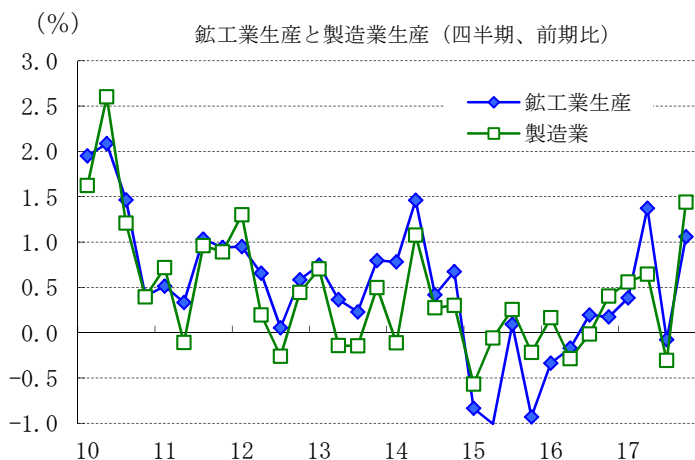
10-12月期の生産活動は、ハリケーンによる下押し圧力の剥落に加えて、復興・復旧需要などの強まりによって高い伸びが見込まれる。18年の鉱工業・製造業生産活動の拡大基調は、内外需要の拡大傾向や、原油価格の安定等を背景に増加するものの、高い水準のドル実効レートの影響を受け、緩やかなペースを続けると予想される。



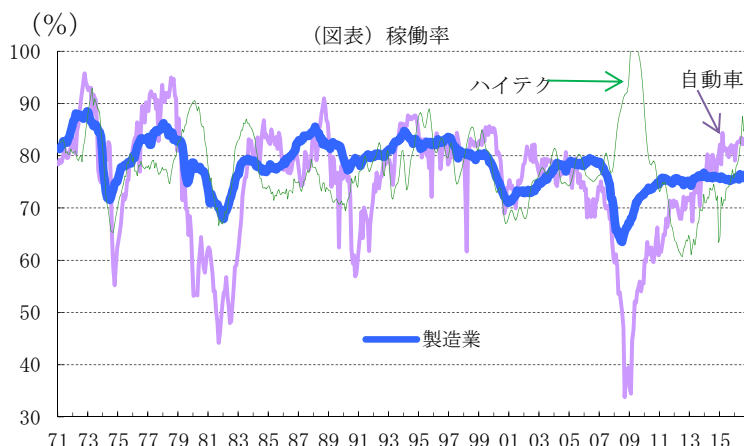
(出所) FRB



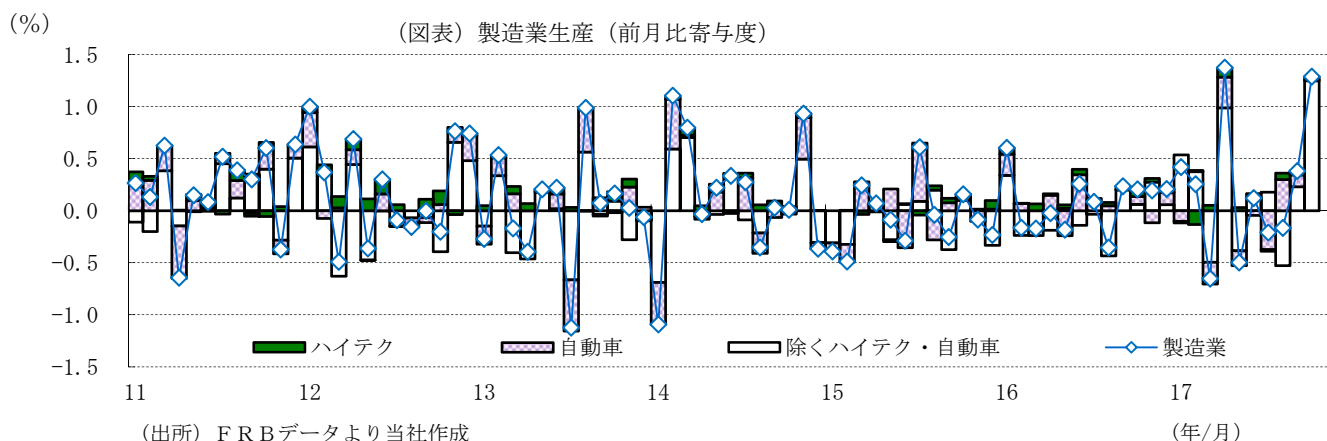
(出所) FRB



(出所) FR



(出所) FRB



(出所) FRBデータより当社作成

(年/月)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。